

いのちを大切にしたいから

大幅増員、夜勤改善を 国民負担を減らし、安全・安心の医療・介護を

夜勤を減らして
休みも欲しい
いつも笑顔で
接したい



医療や介護現場の人手不足は深刻です。
社会保障費抑制策によって、患者・利用者の負担増と
医療・介護崩壊がひろがり、国民の命と健康が脅かされています。
医療・社会保障予算を増やし、安全・安心の医療・介護を実現しましょう。

看護師などを大幅に増やし、
安全・安心の医療・介護を求める署名にご協力ください。



出典：OECD資料から厚生労働省作成の資料

第166回通常国会で以下の決議が行われました。
これを実現するため、実効ある政策が求められています。

- ①医師・看護師など医療従事者を大幅に増員すること
- ②看護職員の配置基準を、夜勤は患者10人に対して1人以上、日勤時は4人に対して1人以上にするなど、抜本的に改善すること
- ③夜勤日数を月8日以内に規制するなど、「看護職員確保法」等を改正すること

『大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護の実現を』国会請願署名

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

20 年 月 日

紹介議員

請願趣旨

長寿世界一を誇る日本の医療は、長年にわたる社会保障費抑制策のもとでも、医師・看護師などの懸命な努力によって支えられてきました。

しかし、医療現場は長時間・過密労働に加え、医療技術の進歩や、医療安全への期待の高まりなどで、看護職員などの労働環境は厳しさを増し、離職者も多く深刻な人員不足で努力だけでは限界にきています。

安全・安心の医療・介護実現のために、看護師など夜勤交替制労働者の大幅増員と労働条件の抜本的改善は不可欠です。

医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、国民が安心して暮らしていける制度が求められています。

そのために、以下の事項の実現を求めます。

請願項目

1. ILO看護職員条約に基づき、看護師など夜勤交替制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上とすること。
2. 医療・社会保障予算を先進国（OECD）並みに増やし、医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすこと。
3. 国民（患者・利用者）の負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現すること。

氏 名	住 所

※この署名は、国会に提出する以外には使用しません。

取扱団体

 **医労連**
(日本医療労働組合連合会)

 **全大教**
(全国大学高専教職員組合)

 **自治労連**
(日本自治体労働組合総連合)